令和５年度　　**数学Ⅰ**　　１１　新潟翠江高等学校（通信制）

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
必履修	4	１２	4	2

教科書	学習書・副教材等
新 数学Ⅰ（東京書籍）	ニューファースト新 数学Ⅰ（東京書籍）

学　習　目　標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 数学における基本的な知識・技能を身につけるようにする。
(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

学　習　内　容

（前期試験範囲）
１章　数と式
　１節　文字と式
　　多項式の計算　乗法公式　（第１回レポート）
　　因数分解　（第２回レポート）
　２節　実数
　３節　方程式と不等式　（第３・４回レポート）
２章　２次関数
　１節　２次関数とそのグラフ　（第５回レポート）
　２節　２次関数の値の変化　（第６回レポート）

（後期試験範囲）
３章　三角比
　１節　鋭角の三角比　（第７回レポート）
　２節　三角比の応用　（第８回レポート）
　　（第９・１０回レポート）
４章　データの分析
　１節　データの分析　（第１１回レポート）
　　（課題学習）
５章　集合と論証
　１節　集合と論証　（第１２回レポート）

学　習　方　法

・　レポート
レポートの問題は，教科書の例題や学習書の問題から主に出題しています。計算問題は途中の計算式を省略することなく書くここで，内容の理解が深まります。必ず計算式を残しましょう。
・　スクーリング
教科書の内容を，レポートの提出期限に合わせて解説します。数学は自学自習ではなかなか理解できない教科です。義務時数に関わらず積極的に出席して理解を深めましょう。
・　定期考査
前期, 後期にそれぞれ１回ずつ実施します。

評　価　規　準　と　評　価　方　法

レポートの提出状況, スクーリングの出席状況, 定期考査の成績を総合して評価します。
レポート・定期考査の評価は次の観点から行います。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数と式, 図形と計量, 二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現･処理したりする技能を身に付けている。	数や式を多面的にみたり適切に変形したりする，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する，事象を的確に表現してその特徴を表, 式, グラフを相互に関連付けて考察している，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，解決の過程や結果を考察し判断している。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価･改善しようとする態度や創造性の基礎が身に付けている。

担当者から一言

「数学は難しい」と考えている人が多いと思います。難しい（解けない）と思ったら，教科書の例題をそのまま真似するところからはじめましょう。途中の計算も常に「何をしているのか？」を意識して問題に取り組んでください。計算の跡は必ず残しておきましょう（答えのみの解答は減点します）。
ＮＨＫ高校講座も積極的に活用して理解に努めましょう。